

施設概要

(1) 整備趣旨

第二次世界大戦中の緊迫した国際情勢の中で、外交官の職を失う危険を冒して、多くのユダヤ人の命を救った杉原千畝氏の人道的功績を後世に語り伝えていくため、杉原氏の母校である旧制第五中学校、現在の瑞陵高等学校に顕彰施設を設置する。

(2) 施設概要

愛知県立瑞陵高等学校 正門西側（名古屋市瑞穂区北原町 2-1）

屋外型展示施設 475 m²

事業者 株式会社電通名鉄コミュニケーションズ

総事業費 114 百万円（平成 29・30 年度の 2 か年事業）

展示方法 説明パネル・ブロンズ像等の展示、音声ガイドシステム導入

(3) 主な展示内容

○ 決断と希望ゾーン

- ・ 杉原氏とユダヤ人家族のブロンズ像（等身大）
- ・ カウナスとプラハのビザリスト（原寸大）全 42 枚を陶板で復元展示
- ・ ビザ発給時の状況を語った杉原氏の生前のインタビュー内容
- ・ ビザ受給者のエピソード

○ 運命のビザゾーン

- ・ 第二次世界大戦勃発からビザ発給までの歴史的経緯
- ・ ユダヤ人難民の避難ルート（リトアニア～ソ連～日本～海外へ）
- ・ ユダヤ人難民の脱出を支援した人たち
- ・ ユダヤ人の命を救った各国の外交官

○ 杉原千畝の生涯ゾーン

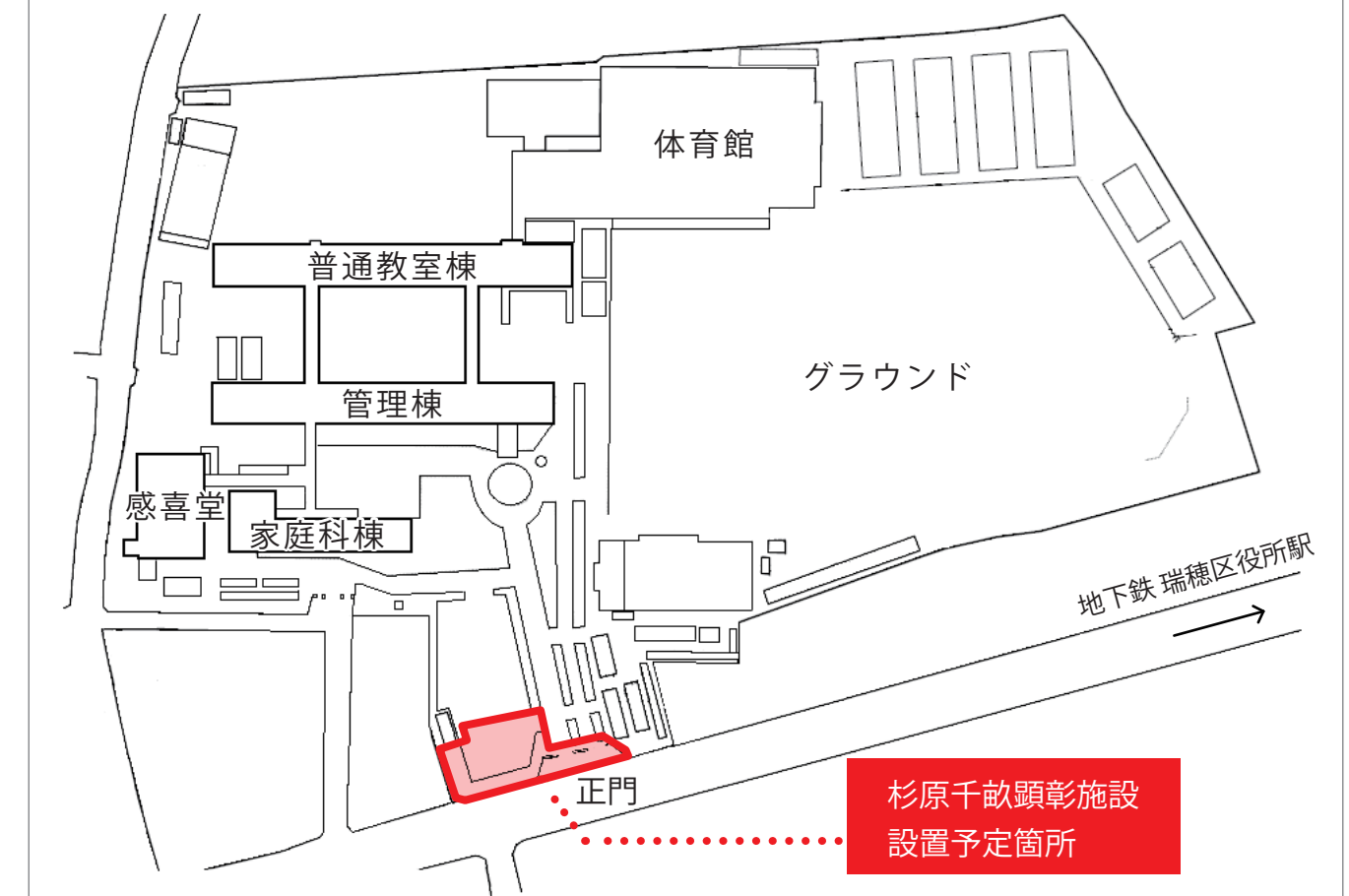
- ・ 杉原氏の幼少期、第五中学校時代の様子
- ・ 外交官としての歩み、民間人として歩んだ戦後

○ 歴史と年譜ゾーン

- ・ 第五中学校～瑞陵高等学校の変遷、著名な卒業生の紹介



愛知県立瑞陵高等学校〈校地平面図〉



施設コンセプト

- 杉原氏の生涯や人道的功績の歴史的な意義に触れ、平和への思いを深めることのできる施設
- 次代を担う子どもたちが、自らの行動や生き方について考えるきっかけとなる、教育的意義のある施設
- 本県で青少年期の約10年間を過ごした杉原氏の当時の様子を紹介する、愛知県ならではの施設



